

やましる 仕事人

ステレオグラムの立体造形技術を開発

ナンゴ（宇治市白川）
南郷 真さん（55）

山城



自社の技術力の象徴である「ナンゴ彫り」の魅力を語る南郷さん（宇治市白川・ナンゴ）

「みんながあつと驚くものを」
社員の提案商品化。会社の特色を発信

「見ると単なる模様のようだが、目の焦点をずらして眺めることで、隠されていた絵や文字が浮き上がるステレオグラム。平面でのみ可能とされていたこのトリックアートを、ナンゴは金属などの表面に凹凸を付けて表現することに成功した。誇りを込めて「ナンゴ彫り」と名付けた。凹凸の陰影を模様の代わり

にする世界初の立体造形技術で、2012年11月に特許も取得した。11年、工作機械メーカーが主催する切削技術のコンテストに参加するに当たり、社内に「みんながあつと驚くものを作ってみよう」と提案。社員から出されたステレオグラムの立体化というアイデアを採用し、金賞を獲得した。

最先端のプログラミング技術と工作機械を使用したナンゴ彫りは、金属精密加工の会社として高い技術力を象徴する存在だ。ナンゴ彫りを施した金属ローラーも実装させた。ローラーに革や樹脂を通すとステレオグラムが浮かぶ凹凸を転写できるため、ブランドのマークを仕込んで偽造防止に役立てるなど多彩な用

途が見込まれている。

銀行員を経て、妻の実家のナンゴを継ぎ、社長に就いたのが06年。3年後のリーマン・ショックによる苦境を糧として、会社の特色や魅力の発信に余念がない。

「打ち出し方が弱いと、会社のことをなかなか知ってもらえない。今後も製造業としての自分たちの強さを見極め、表現していきたい」と力を込める（高橋晴久）



「ナンゴ彫り」のイメージ画像。表面の凹凸を眺めていると絵などが浮かび上がる（ナンゴ提供）



誠心堂

〒613-0033 久御山町林高第1-8
代表 0774(45)1212
FAX 0774(45)1214
nanbu@mb.ky
oto-np.co.jp

京都支社
〒613-0033
久御山町林高第1-8
代表 0774(45)1212
FAX 0774(45)1214
nanbu@mb.ky
oto-np.co.jp
京田辺・学研総局